



進路だより（明友会特集号）

茨城県立友部特別支援学校

令和2年2月14日

今回の進路だよりは、昨年の12月7日（土）に開催された、「明友会創立50周年を祝う会」の様子についてお知らせします。

スライド映像鑑賞「友部特別支援学校50年の歩み」

友部特別支援学校は、昭和45年に茨城県として初の知的障害養護学校として、茨城県立友部養護学校の名前で開校しました。そして、「あかるく なかよく たくましく」という校訓のもと、その歴史を刻んできました。



（昭和45年 開校時の本校舎の様子）



（昭和47年 農園開墾作業の様子）



（昭和56年 友よう祭りの様子）

参加された皆さんが実に真剣かつ懐かしそうな表情で映像をご覧になっていた姿が印象的でした。

グループディスカッション



（スライド上映）



（グループディスカッション）

卒業年代別にグループを作り、自己紹介をしながら当時の思い出を話し合いました。

レクリエーション



（DVD鑑賞）



（カラオケ）



（ボウリング）



（サッカー）

卒業生それぞれがやりたい活動を選び、約2時間の久しぶりに顔を合わせる卒業生たちが、歌や運動を通じて、和やかな雰囲気の中で交流を深めることができました。

本校は昭和、平成と時代が移り行く中、これまで800名以上の卒業生を送り出してきました。そして平成から令和へと時代が移り変わった今年、創立50周年を迎えることができました。今回の祝う会には、総勢85名の卒業生の方々に参加していただきました。50年という歴史を刻んだ友部特別支援学校が、今後さらに発展し、このような卒業生が楽しく集える交流会を今後も開催していきたいと思っております。